

# まわりほどり通信

山形県立河北病院看護部通信

第1号 平成27年5月1日



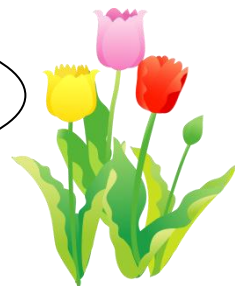
皆さんこんにちは。県立河北病院看護部です。看護部では今年度より、西・北村山地域を中心に「まわりほどり通信」を発行することになりました。「まわりほどり」とは、私達をとりまく地域全体を表しています。地域包括ケアシステムの運用には看護と介護の融合が求められています。患者さんが在宅で安心して過ごすという一つの目的に向かって歩んでいけるよう、県立河北病院の看護部の取り組み等を知っていただくという思いが詰まっています。今後ともよろしくお祈りします。

## 平成27年度の看護部の目標が決まりました。

1. 患者・家族が満足できる看護を提供します。
2. 変化した病院機能に対応した円滑な運用を行います。
3. 看・看連携の環境作りを行います。
4. 職員の資質の向上を図ります。
5. 継続的な情報発信を行います。



今年1年目標に向かって頑張ります！



今年4月に開設した「緩和ケア病棟」「地域包括ケア病棟」の今をお知らせします。

## 地域包括ケア病棟

地域包括ケア病棟の入院数は、5月1日現在病床40床のところ33名となっています。4月当初は20名前後でしたが、毎朝9時に病棟、外来、地域医療支援部の師長が集まり、ベッドコントロールや退院に向けた方向性についてなどの検討を行い、少しずつ軌道に乗ってきているようです。



← {朝のミーティング} 時に白熱した意見交換も・・・

リハビリスタッフが3名増員となり、退院に向けたADL確保のため、看護師とともに頑張っています。



〇〇さん あそこまで頑張って歩きましょうか。



## 緩和ケア病棟

緩和ケア病棟は、その特徴から入院や在宅での療養を患者・家族と相談しながら進めています。4月から12名の方が利用されており、中には疼痛コントロールがつき、退院して在宅療養を行っている方もいます。

患者、家族に寄り添い医師・看護師のみならず、関係医療スタッフで共通認識を持ち個人々人を大切にしたい関わりを行っています



ピアノを寄付していただきました。

食堂での焼き肉パーティー  
患者さんもビールを飲んで大喜びでした。

